

平成 30 年度

予 算

事 業 計 画

資 金 計 画

収支に関する中期的な計画

地方公共団体金融機構

目 次

平成30年度 予算

1. 予算総則 1
2. 平成30年度 予定損益計算書
（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで） 2
3. 平成30年度 予定貸借対照表（平成31年3月31日現在） 3

平成30年度 事業計画 4

平成30年度 資金計画 7

収支に関する中期的な計画 8 （平成30年度～平成32年度）

平成30年度 予 算

平成30年度の予算は、次のとおりである。

1. 予 算 総 則

- 1 地方公共団体金融機構債券及び長期借入金の限度額は、2,275,000百万円とする。
- 2 理事長は、予見し難い経済事情の変動その他やむを得ない事由により前項に規定する債券及び長期借入金により調達する資金の増額を必要とする特別の事由があるときは、事業計画及び資金計画に規定する同債券の発行予定額の100分の50に相当する金額の範囲内において、前項に規定する限度額を増額することができる。
- 3 第1項に規定する債券の発行価格が額面金額を下回るときは、発行価格差減額をうめるため必要な金額を同項の限度額（前項の規定により限度額が増額された場合を含む。）に加算した金額を限度額とする。

2. 平成30年度 予定損益計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
経常収益	316,784
資金運用収益	313,678
貸付金利息	312,755
有価証券利息及び預け金利息	0
その他の受入利息	924
役務取引等収益	93
その他経常収益	3,012
地方公共団体健全化基金受入額	3,000
その他の経常収益	12
経常費用	180,113
資金調達費用	173,046
債券利息	172,467
借入金利息	579
役務取引等費用	285
その他業務費用	2,987
営業経費	3,795
人件費	924
業務費	1,528
その他の営業経費	1,343
経常利益	136,671
特別利益	405,889
公庫債権金利変動準備金取崩額	400,209
利差補てん積立金取崩額	5,681
特別損失	522,021
金利変動準備金繰入額	0
公庫債権金利変動準備金繰入額	121,813
国庫納付金	400,209
当期純利益	20,539

(注)1 単位未満端数四捨五入処理のため、計において一致しないことがある。

3.平成30年度 予定貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
貸付金	23,511,369	債券	20,196,048
有価証券及び現金預け金	909,639	借入金	125,500
金融商品等差入担保金	25,317	金融商品等受入担保金	104,019
その他資産	8,212	その他負債	5,724
有形固定資産及び無形固定資産	5,019	地方公共団体健全化基金	920,288
		基本地方公共団体健全化基金	920,288
		特別法上の準備金等	2,820,727
		金利変動準備金	2,200,000
		公庫債権金利変動準備金	591,857
		利差補てん積立金	28,869
		負債の部合計	24,172,306
		(純資産の部)	
		地方公共団体出資金	16,602
		利益剰余金	212,136
		一般勘定積立金	212,136
		評価・換算差額等	4,846
		管理勘定利益積立金	53,666
		純資産の部合計	287,250
資産の部合計	24,459,556	負債及び純資産の部合計	24,459,556

(注)1 単位未満端数四捨五入処理のため、計において一致しないことがある。

平成30年度 事業計画

- 1 平成30年度における貸付金は、1,660,000百万円を予定しており、事業別の貸付計画額は別紙1のとおりとする。
- 2 平成30年度における貸付回収金は、1,912,471百万円を予定している。
- 3 平成30年度における資金調達は、非政府保証の地方金融機構債（公募債及び地方公務員共済組合連合会等の引受けによる債券）の発行1,450,000百万円、長期借入50,000百万円、政府保証債の発行400,000百万円、合計1,900,000百万円を予定しており、資金調達計画額は別紙2のとおりとする。
- 4 平成30年度における債券償還金及び長期借入償還金は、1,884,269百万円を予定している。
- 5 平成30年度における地方公共団体の財政の健全性の確保、資金調達等をはじめとした財政運営全般にわたる課題について必要な調査・支援業務として、地方公共団体のニーズにあわせて、調査研究、人材育成、実務支援及び情報発信の実施を予定している。
- 6 平成30年度において、株式会社日本政策金融公庫から委託を受けて行う公有林整備及び草地開発のための貸付契約額は、2,493百万円を予定している。

(別紙1)

平成30年度 事業別の貸付計画

(単位:億円)

事業名	貸付計画額
一般会計債	
公共事業等	677
公営住宅事業	195
学校教育施設等整備事業	151
社会福祉施設整備事業	172
一般廃棄物処理事業	188
一般事業	93
地域活性化事業	121
防災対策事業	166
地方道路等整備事業	304
合併特例事業	935
緊急防災・減災事業	1,060
公共施設等適正管理推進事業	437
過疎対策事業	101
計	4,600
公営企業債	
水道事業(上水道)	1,569
水道事業(簡易水道)	152
交通事業(一般交通)	14
交通事業(都市高速鉄道)	216
病院事業	1,075
下水道事業	3,367
工業用水道事業	65
電気事業	42
ガス事業	29
介護サービス事業	14
市場事業	102
と畜場事業	3
駐車場事業	5
港湾整備事業	26
観光施設事業・産業廃棄物処理事業	4
計	6,683
臨時財政対策債	5,317
合計	16,600

注)上記のほか、次のものを貸付けの対象とする。
・東日本大震災復興特別会計予算に係る国庫支出金を受けて事業を実施する場合に発行する一般補助施設整備等事業債
・旧公営企業金融公庫資金又は地方公共団体金融機構資金の使用によって取得した財産が、東日本大震災により焼失又は滅失した場合において繰上償還の財源として発行する被災施設借換債

(別紙2)

平成30年度資金調達計画

1 地方金融機構債

(1) 公募債

債券の種類	平成30年度
国内債	6,000億円
10年債	2,250億円
20年債	1,000億円
5年債	200億円
30年債	200億円
FLIP債	2,350億円
国外債	2,500億円
フレックス枠	1,100億円
計	9,600億円

※ 債券の種類、発行額については、貸付状況、市場環境等により弾力的に対応する。

※ フレックス枠については、各種国内債・国外債の増額、スポット債の発行、長期借入の増額等に活用する。

(2) 地方公務員共済組合連合会等の引受けによる債券

債券の種類	平成30年度
地共連引受債	3,000億円
10年債	1,500億円
20年債	1,500億円
地共済引受債	1,900億円
10年債	700億円
20年債	1,200億円
計	4,900億円

※ 地共連引受債は、地方公務員共済組合連合会の引受けによる債券。地共済引受債は、地方公務員共済組合（地方職員共済組合、公立学校共済組合、警察共済組合、東京都職員共済組合）、全国市町村職員共済組合連合会及び地方公務員共済組合連合会の引受けによる債券。

2 長期借入

平成30年度
500億円

※ このほか、公募債のフレックス枠を活用して長期借入を行うことがある。

3 政府保証債

債券の種類	平成30年度
10年債	2,600億円
6年債	1,400億円
計	4,000億円

※ 国の平成30年度予算の成立が前提。

平成30年度 資金計画

(単位:百万円)

区 分	金 額
資金支出合計	4,124,685
貸付金	1,660,000
債券償還金	1,804,269
長期借入償還金	80,000
事業損金	178,314
事務費	2,740
支払利息	172,041
債券発行費	3,226
元利金支払手数料	308
固定資産取得費	1,893
国庫納付金	400,209
その他	0
資金収入合計	3,990,115
貸付回収金	1,912,471
地方公共団体金融機構債券	1,710,000
借入金	50,000
事業益金	313,615
公営競技納付金	3,000
雑収入	1,029
資金収支差額(資金収入－資金支出)	△ 134,570
前期末現金預け金等	1,044,209
期末現金預け金等	909,639

- (注)1 株式会社日本政策金融公庫から委託を受けて行う公有林整備及び草地開発のための貸付金に係る収支は含まれていない。
- 2 単位未満端数四捨五入処理のため、計において一致しないことがある。

収支に関する中期的な計画

(平成30年度～平成32年度)

(単位:億円)

科 目	30年度計画	31年度計画	32年度計画
経 常 収 益	3,170	2,870	2,590
経 常 費 用	1,800	1,640	1,490
経 常 利 益	1,370	1,230	1,100
特 別 損 益	1,160	1,030	900
当 期 純 利 益	210	200	200

- (注) 1 上記の数値は、金利等について一定の前提条件を置いて試算したものであり、変動するもの。
2 四捨五入処理のため、計において一致しないことがある。